

労働調査運動のDNAを受け継ぎながら

Re-調査運動

謹賀新年

戦後まもなく産声をあげ、1961年に労働調査研究所が発足して60年。研究所は労働組合とともに「労働調査運動」を実践してきました。

労働運動に必要な情報や知見は、学者に任せておくものではありません。自分たちに必要な調査・研究は、自ら担おうというのが労働調査運動です。

1960年代の横断賃率論をはじめ、組合関与、ハーモニックワーク、ライフパタン、政治関与…労働調査運動の成果として数々の労働政策の枠組みを提示してきましたが、いまや、労働調査運動は労働組合の枠にとどまらず、個人を含む社会全体を包括した調査運動をも展望しています。

これまで、そして、これからも、「情報、運動、政治…、自らの行く末を左右するものは自らしっかり握る」——そんな取り組みを皆さんとともに進めていきたいと思えます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

2021年元旦



公益社団法人
国際経済労働研究所

会長 板東 慧
理事長 松浦 昭彦
所長 本山 美彦
所員 一 同

〒540-0031
大阪市中央区北浜東 3-14
大阪府立労働センター 4階
TEL 06-6943-9490
FAX 06-6943-9540
<http://www.iewri.or.jp>

「労働調査運動」に関するコンテンツをお読みいただけます。ぜひアクセスしてください。

